



滝田としゆき

たきた敏幸県議会サポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

印西市・栄町特集号

北千葉道(鎌ヶ谷～市川)有料化を提案!

12月県議会代表質問



自民党を代表して質問する滝田敏幸県議

農林水産常任委員長として活躍

滝田議員 北千葉道路は都心や首都圏北部から成田国際空港へのアクセスを飛躍的に向上し、その効果がいへん期待されている。事業化していない市川・鎌ヶ谷間においては、慢性的な渋滞など地域の課題を解決するため、北千葉道路の早期整備について、地元のみならず、県を挙げて発信

また、交通の円滑化による生産性の向上や、物流施設などの企業進出等、経済に好循環をもたらすストック効果の発現とともに、沿線地域の慢性的な交通混雑など、地域の課題を解消することが期待されます。県としては、北千葉道路の重要性を鑑み、一日も早い全線開通が必要であると

大臣からは、「有料道路事業を活用した整備案をまとめた」と大変前向きな発言をいただいたところであり、県としては、今後、速やかに千葉県道路協議会を開催し、できる限り早期に事業化されるよう取り組んでまいります。

千葉県議会随一の論客として注目の滝田敏幸県議(印西市選出・3期)は自民党を代表し12月定例県議会で登壇。予算委員会を含めると現役最多となる26度目の質問戦に臨みました。財政、防災、福祉、教育、環境、商工、農林水産はじめ県政全般の課題について森田知事はじめ執行部との一問一答を展開。

側区間(鎌ヶ谷～市川9.5キロ)の有料化を河上茂会長が提案。これを受けた石井国交相と森田知事の会談では有料化を前提とする協議会(国・県・ネクスコ東日本)設置も決定。いよいよ地元印西と成田空港の悲願であった北千葉道路も、国直轄事業化に向け動き出しました。さらに、AED県条例制定後も党PT座長として活躍。県庁側は7部局12課体制でのAED普及基本計画の策定を答弁。滝田県議の実行力と発言力への評価が益々高まっています。

印西・成田間4.2キロ、2月19日開通へ

たきた敏幸・PROFILE

- 1960年 印西市大森生まれ 大森小、印西中 県立我孫子高校卒
- 1982年 同志社大学卒業
- 1999年 印西市議初当選
- 2003年 印西市議再選
- 2007年 千葉県議初当選
- 2008年 印西市消防団副団長
- 2009年 総合企画水道常任委員長
- 2010年 千葉県ラグビー協会会長
- 2011年 千葉県議再選
- 2013年 総務防災常任委員長
- 2014年 北千葉道路推進議連幹事長
- 2015年 千葉県議3選 千葉自民党政調会副会長
- 2016年 農林水産常任委員長

栄町・千葉NTバイパスに全力!

北千葉道路・印西・成田間4.2キロが2月19日に開通。今後、栄町と千葉NTを直結する県道本埜・鎌ヶ谷線バイパスの整備が地元課題となります。長門川・豊年橋架け替え工事の早期完成など、県事業の加速化を強く働きかけます。

北千葉道西区間 大きく前進!

ちば自民党・北千葉道路建設推進議員連盟(河上茂会長は11月15日、国土交通省事務次官、技監及び道路局長さらに二階俊博・幹事長と面談。北千葉道路西区間(鎌ヶ谷～市川)の有料道路案と早期事業化を要望。

自民党要望を受けた森田知事は11月21日、石井国土交通大臣と会談。有料道路案での事業化に向け、国・県・ネクスコ東日本で構成する協議会が今後、整備手法を検討していくことを決定しました。



マスコミ取材を受ける河上会長と滝田県議

AED、心肺蘇生 最先進県の実現を！



AED普及に取り組む滝田敏幸県議員

滝田議員 先の9月県議

会においてわが党の発議により、「千葉県AEDの使用及び心肺蘇生法の実施の促進に関する条例」が制定された。県はAEDの使用及び心肺蘇生法の実施の促進を総合的かつ計画的に進めるため基本計画を策定することになっているが、ぜひともAEDの使用率向上を目標に掲げていただきたい。

そこだろうか、基本計画を県庁の中でどのような体制で策定していくのか。

副知事 基本計画については、現在、医療、福祉、商工、教育、警察等の関係7部局12課で構成されるAED等普及促進プロジェクトチームにおいて、具体的な数値目標や普及促進にむけた取り組みなどを協議しているところだ。

今後、医療、消防、市町村等の関係者の意見もうかがいながら、来春の策定を目的に検討してまいります。

要望 滝田議員 あまり関わりないと思われる分野であっても何かできることはあると思うので、オール県庁で知恵を出し合い、また、専門家の意見を聞き、実行性のある計画づくりに取り組んでいくことを要望する。

もちろん、ちば自民党の

政調会プロジェクトチームも条例制定がゴールだとは考えていない。この条例制定をスタートとして、国へのAED促進法制定への働きかけ、千葉県下54市町村への条例制定への働きかけにも取り組んでまいりたい。

毎日全国で約200名の方が倒れ、突然死に至るという現実。千葉県でも年間1

千名以上の方がバイスタンダーの前で倒れている。そしてAEDの使用率は4.0%と低水準にある。とにかくこの使用率を0.1ポイントでも上昇させることが大事であり、目的と考える。

先日AED・P.Tの関政幸副座長、坂下しげき事務局長と日本AED財団理事長の三田村秀雄慶応義塾大学客員教授、英米法の権威樋口範雄東京大学教授と面談し、そのことをはつきりと指摘された。特に道徳教育の中で、人道という観点でAEDや心肺蘇生法の訓練を行うというのもひとつの

考え方としてあってもいいのではないかと話をうかがった。森田知事の掲げる道徳教育とも親和性が高く、相通じるものがあるし、ぜひ検討していただきたいと思う。

印旛沼地域 着実な事業推進 手賀沼地域 国営事業の早期事業化 土地改良で県に要望

滝田議員 水田の整備事業の推進と併せて、基幹的な水利施設や末端施設を積極的に更新すべきと考えるが

どうか。

知事 土地改良事業は、基幹的な水利施設から末端施設までを一体的に整備することで、効果を発現できるものとなっております。

示されているので、一本松用水地区をはじめとして着実な事業推進をお願いする。また、手賀沼地域に関しては、水田の基盤整備を含めた末端整備計画を樹立するとともに国営事業の早期事業化を国に働きかけていただくよう要望する。

新消防学校で全国大会

滝田議員 全国消防操法大会は、消防団員の操法の正確性や迅速性、安全性などを競う全国大会で、全国各地から応援の方々や多くの消防関係者が訪れる。

今年度、長野県で行われた大会に本県からは南房総市消防団が代表として出場し、個人で小鷹団員が見事、最優秀選手賞を受賞した。

現在、県では新消防学校の整備を進めているところであり、この新しい学校で全国消防操法大会が開催されれば、最新の施設を全国の消防関係者に披露する絶好の機会になることから、私としても、新消防学校のこけら落としの大会として、全国大会の誘致を県に対し要望してきた。

副知事 全国消防操法大会は、消防庁及び日本消防協会の共催により、2年ごとに開催され、都道府県大会を勝ち抜いた消防団の代表が、日頃の訓練で培った消防操法技術を競う大会であり、本県は、これまでに4度の全国優勝に輝くな

ど素晴らしい実績を残しております。

県では、これまで、本県の開催実現に向け、県消防協会とともに大会誘致に取り組んできましたが、この度、日本消防協会から、平成32年度の全国大会を千葉県で開催するとの方針が示されたところです。

県としては、新消防学校及び防災研修センターの整備、そして、本県初となる全国消防操法大会の開催

要望 滝田議員 新消防学校の一日も早い完成を切に願っている。全国消防操法大会には全国から来場するので、平成32年度の大会準備に向けて、県庁一丸となり、素晴らしい大会となるよう、よろしくお願

いする。

要望 滝田議員 印旛沼地域に関しては、現在実施中の印旛沼二期地区に関する末端整備計画が既に

副知事 県では、毎年、カミツキガメの活動時期である5月から10月にかけて捕獲作業を行っており、今年度は、捕獲強化に取り組んだ結果、過去最多の約1400頭を捕獲しました。

副知事 県では、毎年、カミツキガメの活動時期である5月から10月にかけて捕獲作業を行っており、今年度は、捕獲強化に取り組んだ結果、過去最多の約1400頭を捕獲しました。

副知事 県では、毎年、カミツキガメの活動時期である5月から10月にかけて捕獲作業を行っており、今年度は、捕獲強化に取り組んだ結果、過去最多の約1400頭を捕獲しました。

全国消防操法大会、H32年千葉県初開催へ！

●県政と印西市・栄町に関するご相談・ご要望をお気軽にお寄せください。

たきた敏幸事務所

〒270-1326 印西市木下1521-125 2F TEL.0476(37)4173